

戦争の存いよの中に

読谷小学校 六年一組

仲間 夢叶

私たちは今、平和な暮らしをおくれています。ですが、76年前、この沖縄は戦争をしていました。そして多くの人の命が犠牲となりました。

今から76年前の1945年4月1日、読谷・嘉手・細・北谷の海岸線一帯に米軍は上陸してきました。米軍の上陸時、米軍の砲撃はひどい人もの村犠牲となっていました。更さ

2002

にあつた戦争体験をした人達の話だと、ノッ下の後は「か天井の大きな岩の下じきになりなくなつて、いっただや、親をなくし、一人ぼっちになつた子供など、戦争は小さな子供から大人まで多くの人が犠牲となりました。戦争は、たぐり物がながったため、虫などをたぐりしていったそうです。

私は、このかマについて知りました。1つ目のかマは、チビチリかマで、2つ目のかマは、ムクかマといます。チビチリかマに

は、当時約140人が避難していましたが、軍国主義の教育によって敵の捕りよになることを許されこいながら、た住民たちは、日本兵らから米軍に捕まったら殺されるしと聞かされて、恐怖心から家族や新せき同じで殺し合う「集団自決」に追いこまれ、83人が犠牲になり、そのうちの竹人が15歳以下の子ども達だったそうです。でも、じりりかこは、「集団自決」はおきていません。ハワイ帰りの男性たちが「米軍は住民を殺さない」と説得し

避難していた人々は壕を出て米軍の収容所に送られたそうです。

私のおばあちゃんは、当時2才で、おばあちゃんの手ぶらうたいと私からしてのひいおばあちゃん達は、集団自決があったチロチリがこいたそうです。でも、集団自決のおこる前にかつをぬけたして、にわて生き残ったとききました。やっぱり、戦争体験をのくの人に、伝えてきてくれた人のありがたさを感じました。私は、戦争体験をきいて、戦争はと

これもおそろしい事だと思いました。

76年前にあつた戦争は、もう二度とくり返

しては、いけないとあらためて思いました。

これから私たちで戦争のなりの中をつく

つていきました。